

地域の子どもたちとつながる 子ども体験塾2022



活動の概要

令和4年11月12日(土)東京家政学院大学 町田キャンパスにて「子ども体験塾2022」を開催しました。

近隣の幼稚園、保育園、小学校に通う児童を町田キャンパスに招待し、現代生活学部の学生と教員がさまざまな体験活動を提供しました。町田市、八王子市、相模原市の各教育委員会の後援を得て、今年は3年ぶりに対面開催が実現し、9つの体験教室を開講しました。

1.当日の様子

事前予約と当日受付により、3歳から12歳までの児童64名とそのご家族にご来場いただき、それぞれ希望する教室に分かれて体験活動に参加していただきました。

各教室は担当教員と複数名の学生が運営し、子どもたちの年齢や興味関心に合わせた活動を提供しました。9つの活動について当日の様子をご紹介します。

【楽しい英語教室】

Simon Says/What Time Is It, Ms. Wolf?/Fruit Basket/Zip, Zapといった英語を使ったゲーム4種に参加していただきました。最後に参加してくれた子どもたちにメダルを差し上げると喜んでくださり、リーダーを務めた学生たちにとっても嬉しい経験となりました。

【障害の理解と支援の体験教室】

車椅子操作の体験では、座った状態で移動しながら普段見ることのできない風景を興味深そうに見回していました。視覚障害の体験では擬似体験用メガネで文字の読み取りに挑戦し、メガネを近づけたり離したりして「ぼやけて見えない!」と声をあげたりする姿がみられ、楽しむ様子が見られました。

【熱中! 夢中! 算数教室】

弦の長さが簡単な整数比である2つの音は協和する原理を発見したピタゴラスが、この原理に基づいて古代ギリシア時代に「ピタゴラス音階」をつくりました。小学5・6年生を対象に、ピタゴラス音階に基づく一弦ギターづくりを行いました。保護者の方から「学校では学ぶことの出来ないような、面白い視点で算数の楽しさを教えてもらった」という嬉しいコメントをいただきました。

【親子で楽しむ表現遊び】

毎年、学生主体で企画・運営する表現遊び教室。今年のテーマは「いざ、忍者村へ!」。忍者の衣装を身に着けて、絵本を観たり、ダンスを踊ったり、手裏剣を作ったり、ジェスチャーゲームにチャレンジしたり…町田キャンパスの屋内外の環境を活かして、「感じる」「作る」「動く」「考える」忍者修行を親子で一緒に楽しみました。

【お話しを作ってランプにしよう】

チーズの空き容器とクッキングペーパーを使って、ランプを作りました。学生が絵本の読み聞かせをして様々なイメージを伝えた後、お子さん達は折り紙などを使ってそれぞれ自分の世界を表現しました。個性あふれる作品を見せ合い、自分の言葉でお話した後、ライトを入れて出来上がり! 暗くした部屋をみんなで歩く姿は、とても満足そうでした!



【音であそぼう 音楽を楽しもう】

1歳～11歳と学生との「音・音楽遊び」は、初めて出会う友達と「あくしゅでこんにちは」の歌に合わせての挨拶から。その後、6つのわらべうた遊び、「音の消える瞬間」を感じる楽器遊び、一人一本のトーンチャイムを持って演奏した「夕焼け小焼け」も大成功。最後は「スパゲッティダンス」で大いに盛り上がりました。

【野菜をまんでおいしくたべよう】

野菜について子どもたちとともに学んだ後に、簡単な調理実習と試食を行いました。今回は「じゃがいも」を取り上げ、みんなで芋餅を作って試食をしました。参加くださった皆さんと美味しくいただくことができました。ご参加くださった皆さんには今日作った芋餅のレシピをお持ち帰りいただきました。

【お好みの色の花の髪飾り】

花びらの生地は、約30種類の色と柄、チュールとリボンは約25種類あり、その中から好きな色の花びらを選んでホチキスとボンドで組み立てます。子どもたちは、ユニークな配色で個性あふれる髪飾りを作り、出来上がった飾りを付けて家族でお食事に、おばあちゃんの家へ行くときなどにとお出かけをイメージした発表をしていました。

【型染でカラフルカードを作ろう】

「カラフルカードをつくろう」とのテーマで、デザインペーパーをハサミで切って作った型紙を用いて摺込み染を行いました。1枚目はどんな感じになるかこわごと紙を切って型紙を制作していましたが、2枚目、3枚目になると、親子で相談しながら作りたい形に型紙を切り、型染を楽しんでいました。

2.保護者から寄せられた感想

参加してくださった保護者の方から寄せられた感想の一部をご紹介します。

- ・丁寧に教えてくれたので子どもも楽しくできました。
- ・案内の学生さんや先生が親切で、とても助けられました。
- ・子どもは楽しく学び、達成感のある体験でした。
- ・とても可愛い髪飾りができました。ピアノの発表会で髪に飾るそうです。
- ・芋餅の調理を行い、家でも貰ったレシピで作るのだと張り切っています。
- ・与えられたものでなく自分で選んだ物で作ったので、嬉しさもあり自慢してまわってます。
- ・子どもが楽しく想像を膨らませました。
- ・5年生の娘にとって大学生のお姉さん達と親の介在なしに話したことは良い経験になったようです。
- ・これからも子供が楽しみながら学べる催しを続けて頂ければ参加させたいです。
- ・中学生が参加出来る内容があると嬉しいです。
- ・自然が豊かな所なので、自然の物を使った活動ができれば嬉しいです。
- ・この大学で学ぶとどんな職業に就けるのか体験できるイベント(保育士、栄養士など)を企画してほしいです。

3.まとめ

町田キャンパスの近隣に住んでいる子どもやそのご家族とつながり、活動を共にすることを通して、地域住民の皆様の学びの場として本学に寄せられる期待を感じることができたイベントでした。今後も、地域の住民の方々との直接つながる活動を展開していきたいと思っています。



プロジェクト概要

- テーマ
子ども体験塾2022
- パートナー
近隣の幼稚園、保育園、小学校に通う児童とその保護者。
- 後援
町田市教育委員会、相模原市教育委員会、八王子市教育委員会
- 担当教員
現代生活学部 児童学科教員
現代生活学部 生活デザイン学科 准教授 富田 弘美
現代生活学部 生活デザイン学科 助教 佐々木 麻紀子
現代生活学部 食物学科 准教授 米澤 加代
- 実施期間
令和4年11月12日(土)